



簡易ガイド・業界・行政機関

申請書、証拠書類、異議申立て、すべて一つの束？ 今では、すべての申請が読み取り済みで担当者の机に届きます。

申請書、証拠書類、委任状、異議申立ては、窓口、郵便、メールで届き、多くは郵便物の一つの束になっています。この簡易ガイドでは、PaperOfficeがそれらを分けて認識し、申請データを読み取り、文書番号でひも付ける方法を説明します。自治体、郡、各種官庁のためのガイドです。

内容の概要

郵便物の束が一件ごとの書類になり、申請データは出典付きのフィールドとして届きます。欠けている必須項目は確認に回され、同じ文書番号が同じ綴りで付いたものが並んで表示されます。

01・課題の内容

申請書は紙で届く。 証拠書類はあとから届く。

市民サービスの窓口と郵便室には、毎日、申請書、証拠書類、委任状、異議申立てが、窓口、郵便、メールで届きます。多くは手書きで記入され、添付書類は別々に届きます。申請を処理できるようになる前に、仕分けされ、打ち直され、記入漏れがないかを確認されます。

なぜ起こるのか

一つの束に、多くの案件

郵便室は一日分の郵便を一度にスキャンします。ある申請がどこで終わり、次の登録証明書がどこから始まるかは、PDFをページごとにめくっていく人にしか分かりません。

手書きの書式

申請者はボールペンで書式に記入し、チェックボックスに印を付け、余白にメモを書き込みます。氏名、住所、文書番号は打ち直しが必要で、数字の入れ替わりは決定の段階になって初めて分かります。

証拠書類はあとから届く

収入証明、委任状、異議申立ては、申請の何週間も後に届きます。それらは同じ案件に属しますが、別の束に入ってしまうことがよくあります。

気づくポイント

- 一日分の郵便を、毎朝手作業で、申請と証拠書類に仕分けしている。
- 氏名、住所、文書番号を、書式から案件管理システムへ打ち直している。
- 申請書が完全に記入されているかは、誰かがめくって確認するまで分からない。
- あとから届いた証拠書類を、未処理箱、受信箱、スキャンフォルダーから探している。
- 閲覧用の写しは、マーカーで黒く塗りつぶしてから、もう一度スキャンしている。

02・PAPEROFFICEでの進め方

分ける、読む、 文書番号でひも付ける。

処理と決定は、お使いの案件管理システムに残ります。PaperOfficeはその前段の受付を扱います。分け、認識し、申請データを読み取り、ひも付けて、黒塗りした写しを提供します。申請に対する決定は、常に責任者が行います。

1 郵便の束を分ける

Split Agentは、結合されたスキャンの中で書類がどこで終わるかを見つけ、白紙のページを取り除き、各部分に名前を付けます。予告された添付書類は、その主たる書類と一緒に残ります。

モジュール: SPLIT AGENT

2 届いたものを認識

AI-DMSは、行政の書式、登録、給与明細、委任状、建築許可などの種類を認識します。異議申立てなど、ご自身の種類も短い指示を加えて追加できます。

モジュール: 分類

3 申請データをフィールドに

Government Forms テンプレートは、書式番号、申請者、案件番号、提出日、チェックボックスの選択、添付書類を読み取ります。手書きの書式はUltraで処理されます。

モジュール: IDP AGENT

4 文書番号でひも付ける

AI-DMS Premiumからは、PaperOfficeが文書番号、参照番号、取引番号を読み取ります。Workspace内の申請と証拠書類に、同じ綴りの文書番号があれば、Knowledge Graphがそれらをひも付けます。

モジュール: KNOWLEDGE GRAPH

5 黒塗りして提供する

開示請求の場合、GDPRリクエスト（第15条）のシナリオが、写しの中の第三者のデータを、プレビュー付きで黒塗りします。写しはパスワード付きのリンクで送られ、すべてのアクセスが記録されます。

モジュール: 安全なメール配信

03・アプリでの操作

郵便の束から、 読み取られた案件まで。

郵便室と担当部署の、業務の設定手順は次のとおりです。必要なのは、部署ごとのWorkspace、AI-DMS Premium、Split Agent、そしてテスト用の典型的な申請書数種類です。

1 部署ごとのWorkspace

Document AI › Workspaces で、部署ごとにWorkspaceを作成し、その種類としてBusinessまたはComplianceを選び、AI-DMS Premiumを設定して、グループ権限を割り当てます。

2 郵便の束を分ける

部署を対象とするSplit Agentを作成します。結合されたスキャンを選び、アクション › エージェントとワークフロー › Split を開いて Split Agent経由で実行 を選択します。元の束は残ります。

3 申請のフィールドを読み取る

申請の一つを選び、アクション › エージェントとワークフロー › IDP の下にある Government Forms テンプレートからエージェントを作成します。申請者と案件番号は必須のままにし、その他のすべてのフィールドは KPIで無視 に設定します。

4 案件を表示する

ドキュメント一覧で、オプション の下の トランザクション ビューを選びます。Knowledge Graphでひも付いた書類はまとめて表示され、ダブルクリックで各書類が開きます。

5 閲覧のために黒塗りする

アクション › エージェントとワークフロー › Redact で、シナリオ GDPRリクエスト（第15条）を選び、プレビュー付きで黒塗りします。すべての箇所を確認してから、パスワード付きの安全な配信で写しを提供してください。

現場からのヒント

すべての文書に文書番号を 受領書と書類の照会では、文書番号を明記し、申請者には証拠書類とともに、番号をそのまま記載してもらってください。そうすれば、処理の途中であとから届いた書類も、Knowledge Graphが申請にひも付けます。

04・事例

市民サービス窓口が、 一日分の郵便を仕分ける。



従業員140名の市役所は、市民サービス窓口で、窓口と郵便で届く申請を受け付けています。住宅手当や住民用駐車許可証などがその例です。経験のある職員が毎朝郵便の束を仕分け、証拠書類を文書番号と照合し、すべての申請に記入漏れがないかを確認しています。

導入前

- 彼は、スキャンした一日分の郵便を、手作業で申請と証拠書類に分けている。
- 申請者と文書番号を、書式から案件管理システムへ打ち直している。
- 必須項目が欠けているのは、めくったときに初めて分かる。
- 閲覧用の写しは、マーカーで黒く塗りつぶし、もう一度スキャンしている。

PAPEROFFICE導入後

- Split Agentが一日分の郵便を分け、添付書類は申請と一緒に残る。
- Government Forms テンプレートが申請者と文書番号を、書式上の出典とともに読み取る。
- 必須の詳細が欠けていれば確認作業が作られ、IDP Review で申請が示される。
- 同じ綴りの文書番号を持つ証拠書類は、トランザクション ビューで申請にひも付けられる。

説明のための架空の事例です。ご自身の書式で、分割とフィールドが正しいかを確認し、法的根拠とデータ保護については、組織の担当部署と確認してください。

05・チェックリスト

部署は準備ができていますか？ 読み取られる受付に対して。

郵便室、担当部署、IT、データ保護と一緒に、次の項目を確認してください。ほとんどは、サンプルの書式一式で試すことができます。

- ☐ 部署ごと、手続きごと、窓口ごとのどれで Workspace を作るかが決められている。
- ☐ 機微な案件の Workspace は、Business または Compliance で、パスワードまたは SMS コードを求める。
- ☐ Split Agent は、郵便室からのサンプルの束でテストされている。
- ☐ 申請の種類ごとに必須フィールドが設定され、確認キューが選ばれている。
- ☐ 決定を行う人は、引き継がれたすべての値を書式上の出典箇所で確認する。
- ☐ 各 Workspace について、誰が閲覧、アップロード、またはすべての操作を行えるかが設定されている。
- ☐ 新しい書類は AI-DMS Premium で、手書きの書式は Ultra で処理される。
- ☐ 異議申立てなど、ご自身の種類が、AI 向けの短い指示とともに設定されている。
- ☐ 受領書と書類の照会には、文書番号が明記されている。
- ☐ 閲覧と開示請求には、どの黒塗りシナリオを使うかが設定されている。

06・よくある質問

担当部署、IT、データ保護が まず尋ねること。

AIが申請について判断しますか？

判断は責任者が行います。PaperOfficeは受付を分け、認識し、読み取り、欠けている必須項目を確認に回します。読み取られたすべての値について、データフィールドには書式上の出典箇所が表示されます。

手書きの書式も読み取られますか？

はい。AI-DMS Ultraでは、AI-OCRが手書きも、行ごとに位置と確信度とともに認識します。Government Forms テンプレートは、チェックボックスの選択を独自のフィールドとして読み取ります。読みにくい箇所は原本で確認してください。

部署ごとの区分はどのように保たれますか？

部署ごとの独自のWorkspaceと、グループごとの権限によってです。閲覧とダウンロード、加えてアップロード、またはフルアクセスです。サーバーは、アプリ、REST API、MCPのすべての呼び出しで、これらの権限を確認します。

記入が不完全な申請はどのように見つけますか？

すべてのフィールドは、初期状態では必須です。申請者と案件番号は必須のままにし、それ以外は KPIで無視 に設定します。値が欠けていて確認キューが選ばれている場合は確認作業が作成され、IDP Review に不足項目が表示されます。Professionalプランに含まれます。

データはどのように当社の案件管理システムに入りますか？

データフィールドをXLSX、CSV、JSONのエクスポートとして渡せます。REST APIでは、POST /documents/idp-agent-runでエージェントを開始し、フィールドを取得します。AIアシスタントはMCPツールpo_documents_idp_agent_runを使います。

公表のための黒塗りはどのように行いますか？

アクション>エージェントとワークフロー>Redact で、目的に応じたシナリオを選びます。ウェブサイトや報道向けには、最大限の匿名化を選べます。プレビューですべての箇所を確認すれば、写しから下のテキストが取り除かれ、原本は変更されません。

07・始め方

次の一日分の郵便の束を分けてみましょう。

app.paperoffice.aiでアカウントを作成し、一つの部署用にWorkspaceを設定して、Split Agentでサンプルの束を分けてください。処理した分だけお支払いいただきます。料金ティアの一覧は料金ページにあります。

サンプルの書式から始める

最もよく使う書式に架空の情報を記入してください。一部は手書きで記入し、一つの束としてスキャンします。実際の市民のデータを使わずに、分割とフィールドをテストできます。

必須フィールドを設定する

申請の種類ごとに、どの詳細が必須か、そして未処理の確認作業を誰が担当するかを決めてください。

データ保護を関与させる

実際の申請を処理する前に、Workspaceの権限、アクセス保護、黒塗りのシナリオを、データ保護担当部署に示してください。

関連データシート

Split Agent

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-pdf-split-ja.pdf

分類

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-classification-ja.pdf

IDP Agent

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-idp-intelligent-document-processing-ja.pdf

Knowledge Graph

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-knowledge-graph-ja.pdf

安全なメール配信

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-audit-safe-email-delivery-ja.pdf

Workspaces

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-workspaces-ja.pdf

このテーマの関連情報

行政機関

paperoffice.ai/ja/kaiketsu/industry/ai-public-sector-government-document-management



このテーマの関連情報

paperoffice.ai/ja/kaiketsu/industry/ai-public-sector-government-document-management

料金

paperoffice.ai/en/pricing

お問い合わせ

paperoffice.ai/ja/otoiawase